

III. 人口

甲. 人口ノ靜態

10. 帝國人口總數及男女別

本表=揭クル人口中[内地ニ本籍ヲ有スル人口(本籍人口)]ハ明治五年ヨリ同三十年マテハ内務省ノ調査ニシテ同省ヨリ年々太政官ニ上申シ又ハ刊行セシ戸口表ニ依ル

明治三十一年同三十六年同四十二年大正二年同七年末ノ人口ハ明治三十一年内閣訓令第一號甲號ニ基キ市町村長ノ調製シタル材料ニ依テ之ヲ整理セシモノナリ但明治三十一年及同四十二年末ノ數當該人口靜態統計書ニ掲クルモノト相違セルハ同書編纂ノ當時缺漏セシ分ヲ追加セシニ依ル、右調査ノ中間各年ハ同年内閣訓令第一號乙號ニ基キ本院ノ調査シタル出生及死亡並就籍、除籍者ヲ加除シテ推計セシモノナリ

明治三十年以前ニ在リテハ人口調査ノ規定ニ屢改廢アリテ其ノ方法一様ナラス隨テ人口増加率ニ於テ甚タ不整ナルモノアルハ往々右調査方法上ヨリ起レル形式上ノ影響ナリ其ノ詳細ハ大正五年刊行ノ[大正二年末人口靜態調査ノ結果ニ據ル帝國人口概説](1-

12) 頁ニ就テ之ヲ看ルヘシ明治十六年以後各年ノ人口ハ在盛獄無籍者ノ調査アルヲ以テ本表中ニ之ヲ計上セリ

[朝鮮人][臺灣人][樺太人]ハ各其ノ主管廳ニ於テ調査シタルモノニシテ臺灣人ニハ行政區畫内ノ生蕃ヲ包含シ蕃地ノ生蕃ヲ除外セルモノ樺太人ハ樺太アイヌ、ギリヤーク、オロツコ、トングースノ總稱ナリ

明治十二年人口ノ男女ノ和カ計ニ符合セサルハ鹿兒島縣大隅國ノ人口男女ノ別ナキヲ以テ計ノミヘ算入セシニ依リ又明治三十二年以後各年ニ於テ男女ノ和カ計ニ符合セサルハ人口推計ノ要素タル死亡者中男女不詳者アリテ男女孰レヨリモ控除スルコト能ハサリシニ依リ計ノミヨリ之ヲ控除セシニ依ル

植民地ニ於ケル人口ノ増加率甚タ不整ナルモノアルハ或ハ戶籍整理ニ依ルモノモアルヘク國籍得喪ニ依ルモノモアルヘク又樺太人ノ如キハ出生死亡ノ狀態大ニ内地ト異ルモノアルニ依ルカ如シ

Table with columns: 調査ノ時, 男, 女, 計, 毎年増加 (實數, 人口千=付), 女百=付男. Includes sub-section 1. 内地ニ本籍ヲ有スル人口(本籍人口) with data from 1870 to 1941.

10. 帝國人口總數及男女別 續

Table with columns: 調査ノ時, 男, 女, 計, 毎年増加 (實數, 人口千=付), 女百=付男. Includes sub-sections 2. 朝鮮人, 3. 臺灣人, 4. 樺太人, 5. 總計 with data from 1903 to 1941.